07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費

事業名	商工業振興対策費	単位：円

事業内容	市内の商工業の振興及び地域の振興を図るため、遠野商工会や遠野市産業まつり実行委員会などに対して補助金・負担金の交付を行い、商工業振興計画あるいは活性化対策等の事業展開を行う。	計画値	商工業者講習会 集団　200人 個別　100人 確定申告等指導　400件 産業まつり来場者 13,000人
成果	遠野商工会においては、経営改善普及事業を通じて中小企業への支援を行った。また、創業や起業の促進支援を行うとともに、新分野進出等経営改革を図る会員との連携強化などに努めた。 産業まつりにおいては、中心市街地活性化を図るため蔵の道ひろばを中心会場とし、中心市街地活性化センターとぴあイベント、商店街イベント、遠野テレビフェスタ、ＪＡふれあいまつり、森林のくに遠野まつり、技能まつりを合同開催した。前年より来場者が 400人程増加し、売上も前年を上回った。	実績値	商工業者講習会 集団　316人 個別　233人 確定申告等指導　512件 産業まつり開催 (10月12日・13日) 来場者　13,500人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
12,388,000	12,388,000	0	0	0	12,388,000

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費

事業名	物産振興費	単位：円

事業内容	市内の物産開発及び販路拡大を図るため、各種物産展への参加、各関係団体に対する助成を行うほか、市内物産開発の現状を把握し広く周知を図る。 1　県内外への特産品販売 2　アンテナショップでの特産品販売 3　首都圏特産品販売アドバイザー事業 　催事や量販店へのアプローチに関してノウハウのある法人等からの指導助言及び検証	計画値	物産フェア等開催　14回
成果	各種物産フェアへの参加及びイベント開催により、県内外への特産品販売やＰＲを行った。また、前年に引き続き友好都市と連携し、震災復興イベントでの物産販売も行うことができた。 物産販売にノウハウのあるアドバイザーと販売事業検証を行い、課題検証を行った。検証結果を公社全体で共有し業務改善を図った。 参加した物産フェア ・ハイウェイフェスタ東北2013、東京競馬場遠野物産展 遠野郷人会、遠高同窓生の集い、むさしの青空市、みずほ銀行復興物産展 中野ブロードウェイ物産イベント、銀河プラザ物産展等 ・イオン南「結いの市」、アンテナショップ「麦わら帽子」	実績値	物産フェア等開催　13回

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,271,000	4,793,490	0	0	0	4,793,490

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費

事業名	金融対策費	単位：円

事業内容	市内の中小企業及び商工業者に対し、融資のあっせん及びその利子補給を行い、商工業の振興を図る。 1　遠野市中小企業振興資金利子補給率　2.5% 2　小規模小口資金（岩手県制度融資）利子補給率　1.7% 3　商工観光振興資金（岩手県制度融資）利子補給率　1.6%	計画値	取扱金融機関　5行 利子補給新規件数　150件
成果	運転資金、設備資金、開業資金及び経営安定資金の融資及び利子補給を行ったことにより、経営の安定と拡充に寄与した。 1　中小企業振興資金 新規貸付 130件、貸付金額 820,240,000円、償還金額 724,562,337円 2　小規模小口資金 新規取扱　25件、対象金額　51,090,000円、償還金額　72,258,400円 3　商工観光振興資金 新規取扱　18件、対象金額 324,970,000円、償還金額　58,654,700円	実績値	取扱金融機関　5行 利子補給新規件数　173件

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
247,000,000	246,744,040	0	0	200,000,000	46,744,040

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費

事業名	企業誘致対策費	単位：円

事業内容	1　雇用の場の確保・拡充及び地域経済の活性化推進のために、企業訪問を実施しながら企業誘致を促進する。 2　市内に事業所を新設又は増設しようとする企業に対する優遇措置を講じることについて、市商工業振興対策審議会を開催し、奨励事業所の適否について諮問を行う。 3　奨励措置適用事業所に対する奨励措置の支援を行う。	計画値	企業誘致件数 平成25年度までに13件の企業立地協定 （平成25年度　1件） 審議会開催回数　3回 新規奨励措置適用事業所数　1社
成果	1　首都圏の企業を中心に企業情勢や取引先の情報把握に努め、当市に進出する意向のある企業との折衝を継続した。 2　企業の設備投資意欲を高め、新規企業誘致及び地場企業増設を促進し、雇用の場の拡充を図るため、遠野市事業所設置奨励条例を一部改正した。 (1) 固定資産税の免除期間(３年免除その後２年半額減免)を５年に拡充。 (2) 新規雇用者の数を、企業の規模に応じて４段階に緩和。 3　遠野市事業所設置奨励条例に基づき、事業所設置奨励金の交付１社、固定資産税の減免７社、民間施設無償貸与１社に対する奨励措置を講じた。	実績値	企業誘致件数 平成25年度までに19件の企業立地協定 （平成25年度　1件） 審議会開催回数　2回 新規奨励措置適用事業所数　2社

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
73,427,000	6,339,677	0	0	0	6,339,677

07 款	商工費	01 項	商工費	02 目	商工振興費

事 業 名	ふるさとの街賑わい創出事業費	単位：円

事業内容	中心市街地の活性化を目的として、次の事業を実施する。 1　遠野商工会が実施する、中心市街地の活性化を目的とした事業に対し補助金を交付する。 2　中心市街地活性化協議会として国への要望や他市との情報交換を行う。 3　中心市街地活性化フォーラムの開催。	計画値	町家のひなまつり展示 70カ所 中心市街地の空き店舗数 14店
成果	商工会を通じて商店街等の支援を行うことにより、市民協働のまちづくりの促進を図り、中心市街地の賑わい創出を実施した。 1　中心市街地活性化補助金 (1) 意欲ある町衆育成事業 町家のひなまつり市民講座（３回）、雛の歴史語り部育成スクーリング（１回）、みずきびな作成講習会（３回） (2) 遠野賑わいプロジェクト事業 メールマガジン（12回）、通行量調査（市内５地点） (3) まちなか散策スタンプラリー（２回） (4) 遠野市街コン「燃えろ遠コン」（138名参加） (5) 町家のひなまつり（来場者27,855名） (6) 空き店舗改修助成事業（１店舗） (7) 空き店舗家賃助成事業（３店舗） 2　中心市街地活性化協議会 (1) 中心市街地活性協議会の開催（２回） (2) 中心市街地活性化協議会ワーキンググループ開催（４回） (3) 中心市街地まちづくり研究会への参加（香川県高松市） 3　中心市街地活性化フォーラムの開催 (平成26年２月24日　あえりあ遠野交流ホール) これまでの中心市街地活性化に係る事業の総括を行い、市民協働による今後のまちづくりの方向性を定めた。	実績値	町家のひなまつり展示 68カ所 中心市街地の空き店舗数 ９店

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
13,564,000	10,452,112	0	0	3,000,000	7,452,112

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費

事業名	ホップ栽培50周年記念事業費	単位：円

事業内容	平成25年度は、遠野市ホップ生産組合がキリンビール株式会社とホップ栽培契約を結び50周年という節目の年にあたることから、本市の産業振興に寄与することを目的に記念事業を行う。	計画値	イベント開催　3回 記念行事開催　1回
成果	1　イベント開催 (1) ホップ収穫祭 日時：平成25年8月25日　会場：たかむろ水光園 (2) とれたてホップ一番搾り生ビール仕込式 日時：平成25年９月12日　会場：仙台市キリンビール工場 (3) 遠野食彩展2014 日時：平成26年２月９日　会場：あえりあ遠野 2　ホップ栽培50周年記念事業 とれたてホップ一番搾り生ビール初飲み会 日時：平成25年10月28日　会場：あえりあ遠野 内容：記念誌及び記録映像集作成、記念品贈呈、功労者表彰	実績値	イベント開催　3回 記念事業開催　1回

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,563,000	1,544,750	0	0	0	1,544,750

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費

事業名	道の駅施設改良事業費	単位：円

事業内容	災害時の応急活動の充実を図るため、市の防災拠点である「遠野風の丘」に非常用発電設備と省水型トイレを整備する。 道路管理者であり事業主体となる岩手県に対し、道路環境改善事業に対する負担金を支出する。	計画値	非常用発電設備及び省水型トイレ整備
成果	1　非常用発電設備１基(定格出力140KVA)及び燃料用タンク(5,000㍑) 2　省水型トイレ整備	実績値	非常用発電設備及び省水型トイレ整備

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16,000,000	11,970,000	0	0	0	11,970,000

07 款	商工費	01 項	商工費	02 目	商工振興費

事 業 名	ふるさとの街賑わい創出事業費（繰越明許費）	単位：円

事業内容	蔵の道ひろばエリアの景観を向上するため旧物産館の外構工事を行う。設計に時間を要したため、平成25年度に繰り越した。	計画値	外構工事　1件
成果	旧物産館外構工事として、芝の張替・木の剪定を行い環境整備をすることにより、蔵の道ひろばエリアの景観に一体感ができた。 また、遠野まちなかギャラリー（旧遠野物産館）の網戸設置工事・屋外階段塗装工事等の少額工事を行うことにより、誘致企業を受け入れする環境を整えた。	実績値	外構工事　1件

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,500,000	1,410,885	0	0		1,410,885

07 款	商工費	01 項	商工費	03 目	観光費

事 業 名	まつり振興事業費	単位：円

事業内容	各種まつりを開催し、観光客の増加を目指すとともに、郷土芸能伝承や活性化を図る。 ・遠野さくら祭り　・東北馬力大会馬の里遠野大会 ・柏木平リバーサイドまつり　・遠野まぬけ節フェスティバル ・遠野納涼花火まつり　・日本のふるさと遠野まつり ・躍進みやもり祭り　・遠野ふゆ物語	計画値	まつりの開催　各1回
成果	約40年ぶりに復活するＪＲ釜石線のＳＬ定期運転を各種まつりのテーマに盛り込み開催した。 多くの観光客が訪れたことにより、地域活力の向上や活性化がなされ、活気あるまちづくりに資する一助となり、官民一体となって各種まつりをつくり上げることができた。 日本のふるさと遠野まつりは、市民協働により中心市街地で盛大に開催し、後世に伝えるべき歴史や伝統、郷土芸能継承活動の一翼を担った。 柏木平リバーサイドまつりは悪天候のため中止となった。	実績値	主な入込み数 さくら祭り　10,000人 馬力大会　6,500人 まぬけ節　3,500人 花火まつり　30,000人 遠野まつり　35,000人 みやもり祭り　2,000人 ふゆ物語　28,000人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
22,000,000	21,990,000	0	0	20,300,000	1,690,000

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費

事業名	観光・交流施設整備保全事業費	単位：円

事業内容	遠野市観光・交流施設整備方針を定め、観光客等のニーズに対応した環境整備を行いながら、老朽化等により景観を阻害したり、観光客や利用者などに不便をきたしている施設等の改修を行い、利用者が安全、快適に利用できるように整備する。	計画値	遠野物語原風景ゾーン (遠野ふるさと公社所管施設) 17件 柏木平レイクリゾート 1件 自然の風体感ゾーン (市内観光地ほか) 5件
成果	遠野市観光・交流施設整備保全方針に基づき、計画的に改修工事を実施。 主な改修工事は、遠野ふるさと村附属便所改修工事、国道340号観光案内標識設置工事、国道283号観光案内標識設置工事を行い、観光客等の利便性向上と施設の長寿命化を図った。	実績値	遠野物語原風景ゾーン (遠野ふるさと公社所管施設) 7件 柏木平レイクリゾート 0件 自然の風体感ゾーン (市内観光地ほか) 11件

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27,005,000	26,561,306	0	23,300,000	0	3,261,306

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費

事業名	伝統かやぶき屋根再生事業費	単位：円

事業内容	伝統かやぶき屋根再生整備方針に基づき、本市の貴重な地域資源である茅葺き家屋を良好な状態に保つため、定期的な葺き替えや、差し茅を行うとともに、茅葺き家屋の保全と文化を継承し、観光地としてのイメージアップを図る。	計画値	遠野ふるさと村内施設茅葺替工事 4件
成果	遠野ふるさと村内にある水車小屋、大野どん附属便所、大工どん附属便所の改修工事に取り組んだ。 茅葺き施工に携わる地域団体にも改修作業への参加を促し、茅葺き職人の養成と技術継承を図るとともに、施工中は「みせる観光」として現場を公開し、観光を通じて茅の葺き替え文化継承を心がけた。 しかしながら、資材費の高騰や東日本大震災による施工業者の作業員の労働単価の増加により、計画に対し、１棟下回る結果となった。	実績値	遠野ふるさと村内施設茅葺替工事 3件

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
22,382,000	22,381,800	22,000,000	0	136,000	245,800

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費

事　業　名	めがね橋周辺賑わい創出事業費	単位：円

事業内容	遠野市の西の玄関口宮守町を代表する観光の名勝「めがね橋」周辺の施設を活用し、賑わいを創出（集客）することにより遠野市のＰＲと地域の活性化を図る。	計画値	観光客入込数　369,280人
成果	「めがね橋」周辺の施設を活用したイベントを開催したことにより、観光客等の集客や地域住民の交流、活性化が図られた。 イベント開催回数　６回 １　恋人の聖地めがね橋ＰＲキャンペーン（4/26～5/12、2,000人） ２　めがね橋「絆」チャリティーライブ（7/20、500人） ３　めがね橋夜まつり（8/13、200人） ４　めがね橋光のページェント（12/20～25、300人） ５　三陸コンサートⅢinみやもりホール（2/9、150人） ６　めがね橋ＳＬ写真・ジオラマ展（2/25～3/2、1,936人）	実績値	観光客入込数　309,497人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
558,000	557,500	0	0	0	557,500

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費

事　業　名	ＳＬ停車場プロジェクト推進事業費	単位：円

事業内容	平成24年10月にＪＲ東日本から釜石線にＳＬ復活の発表があった。このＳＬ運行は本市にとって観光及び地域活性化の絶好の機会である。平成22年の『遠野物語』発刊100周年の盛り上がりや、平成24年の「いわてＤＣ」で構築したおもてなしスタイルを維持しつつ、冬に予定されている釜石線でのＳＬ運行等により、本市が注目されることが期待される。 また、中心市街地の施設整備が完了となることから、この好機を追い風とし、本市を全国的にＰＲして誘客を図るとともに、観光客の受け入れ体制の強化を図る。	計画値	観光客入込数　640,000人 お出迎え隊　390人 宿泊客数　73,800人
成果	平成25年１月15日にＳＬ停車場プロジェクト推進本部を設置し、ＳＬ銀河釜石線営業運転に向け本部会議及び部会を開催した。 このプロジェクト推進のため、市内関係機関・団体へＳＬ停車場プロジェクトの概要説明及び意見交換を行うとともに、「おおみや鉄道ふれあいフェア2013」をはじめ夏休み期間運行したポケモントレインでのざしきわらし隊によるお出迎え、「とぴあビアガーデン」など市内外でＰＲを行った。駅前通りには横断幕やタペストリーを設置し、市民及び観光客への啓発活動を行ったほか、宮守町では岩根橋河川敷の環境整備を行った。 産業まつりではＪＲ遠野駅と連携をとり、駅内のブースで昭和25年10月10日釜石線全通ビデオを上映、まつり会場内のＳＬ停車場プロジェクトブースでは、ＳＬ運行のＰＲを行った。 また、開発中商品の展示や、市内仕出業者の協力によるＳＬ運行時を想定した弁当の展示及び試食を行い、アンケート調査の結果を業者にフィードバックすることで今後の参考にしてもらう取り組みを行った。 ２月には「ＳＬ銀河」釜石線運転記念企画展をあえりあ遠野中ホールで開催し、３日間で 2,047名の入場があり市内外に周知を図った。	実績値	観光客入込数　506,557人 お出迎え隊　120人 宿泊客数　95,684人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
23,090,000	16,316,385	0	0	0	16,316,385

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費

事業名	地域活力創出モデル事業費	単位：円

事業内容	本市がこれまで実施してきた「交流による地域の活性化」を幅広い年齢層や世代に対し、気軽に体験できるような「着地型観光」の視点を取り入れながら、都市と農村との交流の発展を図る。 また、必要な施策を大学と連携しながら模索し、特色のある地域づくりを展開していく。	計画値	農家連携ツーリズム地区 ２地区 市内移動ツール　１コース 沿岸地域への移動ツール １コース
成果	法政大学現代福祉学部と連携し、観光客が立ち寄り農家の暮らしを体験する「立ち寄り農家」や、市内観光資源を結ぶ乗降・乗換自由の「巡回ジャンボタクシー」のほか、本市を拠点に継続的なボランティア活動が可能となる「ボランティア・ツーリズム」を構築するための検証を重ねた。 農家連携ツーリズム地区は松崎地区と土淵地区を中心に取り組み、参加農家の意識向上が図られた。 市内移動ツールとして「宮守・綾織線」と「土淵・光興寺線」の２コースを設定し、26年度からは「巡回ジャンボタクシー」の試験運転に取り組む。 沿岸地域への移動ツールとして、ボランティア・ツーリズムの沿岸地域の受入態勢が整い、今後はＮＰＯ法人遠野山・里・暮らしネットワークを中心に具体的なツアー募集やツアー受入先の開拓を進める。	実績値	農家連携ツーリズム地区 松崎町地区・土淵地区 市内移動ツール　２コース 沿岸地域への移動ツール １コース

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
14,493,000	14,468,110	14,468,110	0	0	0

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費

事業名	観光・交流施設整備保全事業費（繰越明許費）	単位：円

事業内容	遠野市観光・交流施設整備方針を定め、観光客等のニーズに対応した環境整備を行いながら、老朽化等により景観を阻害したり、観光客や利用者等に不便をきたしている施設等の改修を行い、利用者が安全、快適に利用できるように整備する。	計画値	遠野物語原風景ゾーン (遠野ふるさと公社所管施設)　１件 自然の風体感ゾーン (市内観光地ほか)　２件
成果	遠野市観光・交流施設整備保全方針に基づき、計画的に改修工事を実施。 改修工事は、遠野ふるさと村ビジターセンター改修工事、国道340号観光案内標識設置工事、河童橋改修工事を行い、観光客等の利便性向上と施設の長寿命化を図った。	実績値	遠野物語原風景ゾーン (遠野ふるさと公社所管施設)　１件 自然の風体感ゾーン (市内観光地ほか)　２件

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
15,052,000	15,051,350	0	0	0	15,051,350

07款	商工費	01項	商工費	04目	交流推進費

事業名	連携交流推進事業費	単位：円

事業内容	1　交流人口拡大推進事業 劇団わらび座『遠野物語』全国ツアー公演を友好都市等で行う。 また、遠野郷人会を中心とした首都圏のネットワークづくりを行う。 2　都市間交流事業 首都圏等に向けた交流事業として、友好都市である武蔵野市、大府市と都市と農村の交流として市民ツアー等の受入、まつりへの出店を行う。市民交流事業として、友好都市である菊池市、西米良村との住民相互交流を行う。 また、「平成・南部藩」交流事業として南部氏ゆかりの平成・南部藩構成市町と自治体交流を行う。 3　企業連携交流事業 富士ゼロックス（株）と連携して企業研修の受入を行う。	計画値	交流事業参加者人数 1,100人
成果	1　交流人口拡大事業 劇団わらび座『遠野物語』全国ツアーにおいて、友好都市等の公演会場で遠野をＰＲした。また、遠野郷人会を中心とした首都圏のネットワークを活かし遠野をＰＲした。 2　都市間交流事業 武蔵野市家族ふれあい自然体験や大府市民ツアーの受入を行い、友好都市との交流を深めた。武蔵野市及び大府市のイベントに出店を行い、遠野市の特産品を販売しＰＲすることができた。菊池市、西米良村とは住民相互交流を行ったほか、菊池広域連合視察研修受入等を行うことにより交流を深めた。 また、「平成・南部藩」交流事業は、子どもサミットや一日国替えを行うことにより、平成・南部藩構成市町と友好関係を深めた。 3　企業連携交流事業 旧土淵中学校を拠点とした富士ゼロックス（株）の新入社員研修等の受入を行うことにより交流人口の拡大につながった。 また、研修のプログラムにある対話会では、市民や高校生が参加し意見交換することができ、新たな交流の形を取り入れることができた。	実績値	交流事業参加者人数 2,537人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,778,000	4,622,580	0	0	483,060	4,139,520

07款	商工費	01項	商工費	04目	交流推進費

事業名	で・くらす遠野定住促進事業費	単位：円

事業内容	1　で・くらす遠野サポート市民会議との協働による移住・定住の促進 2　で・くらす遠野市民制度の運営と広報誌「で・くらす遠野」を年４回発行する。	計画値	定住者世帯数 (H18～累計)　40世帯 で・くらす遠野市民人口 (累計)　1,400人
成果	1　移住希望者のワンストップ窓口を心掛け、農地、新規就農、就労などの相談に関係機関と情報共有しながら対応した結果、今年度は10世帯16人が移住した。 2　遠野市空き家リフォーム事業助成金の利用により、移住の受け皿となる住居の充実を図ることができ、物件確保に努めた。（交付件数　２件） 3　移住者交流会を開催したほか、新たに移住した方へは電話で聞き取りするなどフォローアップに努めた。 4　首都圏におけるイベントを利用し、国や県との連携のもと定住者を呼び込む機会を増やした。 5　広報誌「で・くらす遠野」を年４回発行し、全国ので・くらす遠野市民に遠野の情報を発信した。	実績値	定住者世帯数 (H18～累計)　53世帯 (H25定住者世帯数　10世帯) で・くらす遠野市民人口 (累計)　1,829人 (H25末で・くらす遠野市民人口　341人)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,597,000	2,970,910	0	0	2,800,000	170,910

07款	商工費	01項	商工費	04目	交流推進費

事業名	遠野ツーリズム交流推進事業費	単位：円

事業内容	遠野の地域資源や特色を活かした遠野ツーリズムの推進と、遠野早池峰ふるさと学校を利活用した交流拠点事業について、関係団体や地域住民と連携して行う。	計画値	農家民泊戸数　120軒 遠野早池峰ふるさと学校利活用者数　1,000人
成果	教育旅行や企業研修などの滞在型ツーリズムが増加し民泊受入農家も６軒増加した。 遠野早池峰ふるさと学校を一度訪れた方が、雰囲気に魅かれ、学校を気に入り、何度も学校を訪れるリピーターが増えた。 このほか、岩手県高等学校新人登山大会が遠野早池峰ふるさと学校を拠点に開催されたことなどにより利用者が増加した。	実績値	農家民泊戸数　135軒 遠野早池峰ふるさと学校利活用者数　5,501人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,762,000	3,674,216	0	0	3,500,000	174,216